



NPO法人こどもとむしの会

平成29年度（2017年度）事業報告書

A 子どもと虫に関連する普及啓発事業

A-1 いどうこんちゅうかん

昆虫館や博物館に出かけるチャンスのない子どもたちのもとにも、「いどうこんちゅうかん」というビックリ箱をとおして「ほんものたいけん」を届けます。

平成29年度は21ヶ所で開催しました。参加者総数は2476人。こどもとむしの会のスタッフはのべ119人でした。神戸市児童館派遣事業は23年度から7年目です。

(吉岡)

平成29年度（2017年度）いどうこんちゅうかんの内容

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
6月17・18日	熊本県立装飾古墳館（熊本県山鹿市）	1日目238人（フェア来場者約2100人） 2日目358人（フェア来場者約2300人）計596人	八木・阪上・堀内・坂本・吉岡	こども☆ひかりの「ミュージアムキッズ！全国フェア」に参加。全国から44の博物館・美術館が熊本に結集。 まず「昆虫大捜査線」で虫採り。その後「むしむしたいけん」を実施。会場を網を持った家族が走りまわる。熊本の古墳の丘に吹く爽やかな風の中、虫が大好きな子どもたちがいっぱい来てくれた。
6月24～25日	三田市野外活動センター（三田市小柿）	150人（子ども80人）	久保・中瀬・室崎・徳平・中谷・坂本・吉岡	有馬富士自然学習センター主催の「スーパーむしむしキャンプ」に檀原・伊丹・箕面・佐用の4つの昆虫館が集結。昼は採集。夕方からナイター。参加した家族はそれぞれのペースで虫採りを楽しんだ。
6月29日	佐用町立三河保育園	46人 （保育園児25人・三河小学校1年生4人 / 取材スタッフ他8人）	久保・近藤・野村・斎藤・吉岡	佐用の子どもにも「たいけん」を届けようと8年ぶりに「いどうこんちゅうかん」が復活。保育園の水槽にはダガメ。ツマグロヒョウモンの蛹も展示されていた。子どもたちはいきもの大好き！近藤さんの紙芝居『むしのかお』にも大きな声で答え、虫やイモリ・カメをいっぱいさわってくれた。姫路と佐用のケーブルTVと広報が取材。
6月29日	佐用町立南光保育園	37人（保育園児29人）	久保・近藤・野村・斎藤・吉岡	午後は雨の中、南光保育園へ。午後は園児はお昼寝の時間だが、当日はお昼寝なしで年長・年中児が参加。3歳児はお昼寝後に『生き虫体験』。子どもたちはおおよろこびだった。

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
7月9日	棚倉町文化センター倉美館（福島県棚倉町）	むしとりペナントレース参加者100人+むしむしたいけん300人（子どものみ） 来場者600人	八木・川崎・陶木・薄葉・吉岡	「こども☆ひかりひよこミュージアム in たなぐらまち」に参加。最高気温34℃の中、10時からの虫採りに100人が参加。11時からの「むしむしたいけん」には行列もでき、カヤの中は一時満員状態に。午後になってもアミ・カゴ持参の家族が多く来場。「虫採り」の需要の大きさを感ずる。対象が幼児ということで小さな虫が大活躍。ずっとカヤの中にいる子どもいた。
8月3日	神戸市立神出児童館（西区）	29人（1～6年生）	近藤・吉岡	3年連続で「むしのおえかき」開催。今回は半日で夏休みの宿題になるような絵を描いた。いきいきとした虫の絵がたくさんできあがる。近藤さんのミニカヤの虫たちに子どもたちは歓喜。
8月5日	しあわせの村（神戸市北区）	300人	中瀬・阪上・室崎・菅澤・吉岡	6年目の開催。プール帰りの子どもたち、チラシを見て来たという家族や毎年来ているという固定客(?)が来場。同じ場所での継続の大切さを感じる。アブラゼミが大音響で鳴き愉快。
8月6日	こうべまちづくり会館（神戸市中央区）	36人（こども15人）	久保・近藤・室崎・中谷・吉岡	元町商店街アーケードの一角にある建物内で開催。午前・午後各30名限定募集と聞いていたが、当日は午前午後あわせて子ども15人。その分、参加者にはゆっくり楽しんでもらった。
8月21日（午前）	神戸市立福池コーナー（東灘区）	56人（小学生52人）	池田・阪上・室崎・中谷・溝手・吉岡	8月21日・23日・24日の3日間は神戸市児童館派遣事業。今年も高倍率の抽選で当たった6館へ行く。初日は福池小学校内にあるコーナーへ。後日、子どもたちが描いた絵や質問や手紙が届く。とても楽しかったことがわかりこちらもうれしい。
8月21日（午後）	神戸市立山の手コーナー（中央区）	56人（小学生50人）	池田・阪上・室崎・中谷・溝手・吉岡	午後は山の手小学校内にあるコーナーへ。とてもにぎやかな1日となる。むしむし大博士は若い池田くん。終了後も男の子に囲まれて質問攻めだった。（神戸市児童館派遣事業）
8月22日（午後）	神戸市立桃山台児童館（垂水区）	81人（小学生67人・幼児2人・大人2人）	中谷・中谷・阪上・室崎・中谷・溝手・吉岡	直接依頼による8年目の開催。午前中に子どもたちが採ってくれたセミをカヤに放す。檀原市昆虫館の中谷さんの「おっちゃん虫話」が大ウケ。昨年までは2部制だったが、人数が増え1部に。その分楽しむ時間が長くなる。
8月23日（午前）	神戸市立小部児童館（北区）	57人（小学生53人）	八田・室崎・中谷・溝手・洞出・吉岡	準備中も子どもたちは気になってしょうがない様子。楽しみに待っていてくれたようだ。ブログ用の写真撮影をお願いしているが、今回写真は一切出さないと言われる。これも時代なのだろう。（神戸市児童館派遣事業）

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
8月23日 (午後)	神戸市立南五葉 児童館(北区)	69人 (小学生53人)	八田・室崎・中 谷・溝手・洞 出・吉岡	「むしむし小話」は中谷さんの『むしの眼』。単眼 や複眼、見え方について。準備が大変なようだが、 学生の話は子どもたちの興味を引きつける。八田先 生の「ハッチョウトンボのお話」にも子どもたちは 好奇心いっぱい。「ちっちゃ〜い!」とびっくり。 (神戸市児童館派遣事業)
8月24日 (午前)	神戸市立板宿宿 児童館(須磨区)	58人 (小学生40人・ 幼児6人・大人5 人)	中谷・室崎・中 谷・菅澤・溝 手・洞出・吉岡	タペストリー紹介は室崎くん。さすが院生。『虫の 眼』の小話に絡ませ単眼をみんなでさがしたり、虫 の呼吸法の解説もしてくれた。子どもたちはしっか り聞いていた。 (神戸市児童館派遣事業)
8月24日 (午後)	神戸市立高丸コ ーナー(垂水 区)	65人 (小学生54人)	中谷・室崎・中 谷・菅澤・溝 手・洞出・吉岡	連日の高温でカラカラの校庭にはセミの声すら聴こ えない。会場の教室に子どもがいっぱいだったので 見せ方に工夫が必要。今年もカヤは人気だった。 (神戸市児童館派遣事業) 29年の派遣事業の参加者：6館で362人(小学生313 人・幼児6人・大人5人・児童館スタッフ38人)
9月9~10 日	国立淡路青少年 交流の家(南あ わじ市)	109人 (子ども56人/ 32家族)	八木・池田・奥 井・阪上・福 井・室谷・吉岡	1泊2日の『AWAJIむしむしキャンプ』。参加者はゆ る〜い時間割に各家族のペースで参加する。宿泊も テント・ログハウス・宿泊棟と選択自由。あつとい う間に定員になったそうだ。採った虫は種名を書い て展示。トンボ採り、アリジゴク探し、ナイター。 翌日は『むしのおえかき』。夜、子どもだけで歩い ても安心な環境の中で十二分に家族で楽しめるキャン プとなった。
10月14日	ひょうご環境体 験館(佐用町)	31人 (子ども16人・ 大人 15人)	八木・中瀬・溝 手・吉岡	早いもので5回目の実施。リピーターも多いので、今 年は「虫採り」メインの企画に。まずは近くの草地 に集合。採集後、体験館へ行き「観察タイム」。じ っくり見ておえかきをする。
11月1日	佐用マリア幼稚 園	69人 (保育園児63 人)	久保・近藤・野 村・斎藤・茂 見・吉岡	佐用町「いどうこんちゅうかん」秋の部。幼稚園の 先生のダンゴムシの模型のリクエストでダンゴムシ 押しに。虫集めをがんばった結果、11月でも豪華な カヤに。カヤ・生き虫・ぬりえ・カメ・イモリにへ び。なんでもさわれる積極的な子供たちだった。
11月1日	佐用町立佐用保 育園	66人 (保育園児60 人)	久保・近藤・野 村・斎藤・茂 見・吉岡	近藤さんの「むしのおやこ」の紙芝居に子どもたち は大盛り上がり。久保さんのダンゴムシのお話にも いっぱい手が挙がる。先生方にも好評で、佐用の 「いどうこんちゅうかん」も定着できそうだ。

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
11月7日	神戸市立桃山台 児童館（垂水 区）	49人 （小学生34人・ トライやるウィ ークの中学生7 人）	近藤・吉岡	「むしのおえかき」も5年目。「大人は横から何も言 わず、子どもにのびのびと自由に描かす」。2枚目・ 3枚目になると色づかいも大胆に。子どもたちの集中 した観察により今年もすばらしい195匹の虫ができあ がる。
11月19日	神戸アートビレ ッジセンタ ー（神戸市兵庫 区）	110人	八木・久保・篠 谷・濱田・吉岡	こどもひかり「ミュージアムキッズ！Party2017」に 参加。10℃前後の屋外で、虫の動きもゆっくりに。 おかげで幼児もオオクワなどの要注意な虫たちがさ わりやすい。カヤには、こつこつ集めたキチョウや モンシロにオオスズメバチ♂や久保さん飼育のタテ ハモドキなど。寒くてもなんとかなるものだ。地元 新開地のおじちゃんたちも楽しんでくれた。



（左上）佐用町立三河保育園でのいどうこんちゅうかん、（右上）熊本県立装飾古墳館
（左下）スーパーむしむしキャンプ、（右下）AWAJIむしむしキャンプ

A-2 むしむしたいけん

兵庫県立人と自然の博物館主催のオープンセミナー「むしむしたいけん」を、共催した。

2017年8月10日（木）～13日（日）・15日（火）の5日間。会場は、三田市有馬富士自然学習センター。

参加者：652名。

（吉岡）



むしむしたいけんのようす

B 地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業

B-1 神戸市北区のチョウ類調査

新名神高速道路計画路線が神戸市北区道場町を通過するにあたり、工事施工前・工事中・工事完了後にかけてギフチョウの生息状況及びチョウ類相の調査を行い、同工事による環境の改変が及ぼす影響を評価するとともに、必要であれば保全対策等についての提案を行ってきた。調査は平成22年4月から開始され、平成29年度が最後となった。

(吉田・近藤)

調査月日	調査内容	調査方法
5月8日	ギフチョウ	カンアオイ群落における探索
5月15日	卵・幼虫確認調査	



調査のようす

B-2 昆虫雑誌「きべりはむし」の編集発行

2017年度に発行した『きべりはむし』の概要

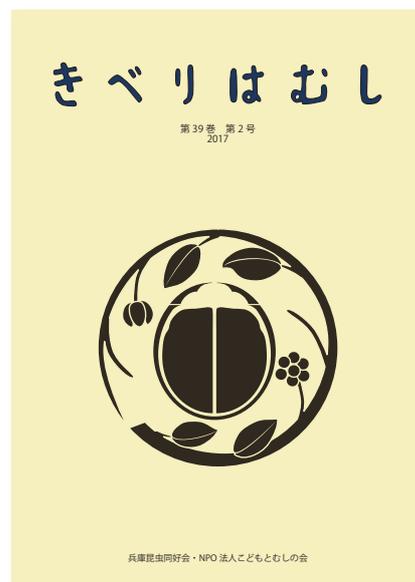
きべりはむし 第40巻 第1号

- ・2017年12月25日発行
- ・頁数45、報文6編、短報11編

きべりはむし 第40巻 第2号

- ・2018年3月25日発行
- ・頁数33、報文5編、短報7編

(中峰)



C 昆虫館等の運営支援事業

C-1 佐用町昆虫館の管理運営

■入館者

昆虫館入館者数は4179人（開館70日）で、28年度比で約400人の減であった。お盆の臨時開館は3日間（8月14日（月）～16日（水））行った。

（前年の28年度は4584人（開館76日）であったが、5月にも2日間臨時開館した等、開館日数が多くなっており、日平均記帳者数は60.3人で、今年度の59.7日と、ほぼ同じである。）

■交通事故と対策

5月21日（日）佐用町昆虫館前で歩行者と車両の接触事故が発生した（同日付で教育長宛文書で報告済）。5月27日（土）NPO法人子どもとむしの会の理事会を昆虫館で開催し、善後策を協議した。緊急対策として5月28日（日）より正面入口を閉鎖し、北側入口（網室横）に変更して開館することとなった。その後、佐用町役場により、新たに入口表示、歩行者への注意喚起を行う看板が設置された。



急遽、昆虫館の安全対策を協議（5月27日）

■地元の利用

幼稚園1園、保育所2園の団体利用があり、貸切開館として対応した。

- 7月21日 三日月保育園
- 8月4日 三河保育園
- 10月12日 宍粟市立菅野幼稚園

■アウトリーチ活動

佐用町内の幼稚園・保育所を訪問し、昆虫に触れる体験を提供する「いどうこんちゅかん」を2日間、4園で実施した。（再掲）

- 6月29日 三河保育園・南光保育園
- 11月1日 佐用マリア幼稚園・佐用保育園

7月23日（日）に開催された「ひまわり祭」に、『ふるさとの虫とあそぼう』コーナーとして出展した。このコーナーへの来場者は、カウントする間もないくらい忙しかったが、3000人はくだらないと思われる。利用者数一覧表には加えていない。

（野村）

佐用町昆虫館の利用者数等

月	開館利用			閉館時利用			アウトリーチ			総計		
	開館日数	記帳者数	スタッフ数	日数	人数	スタッフ数	件数	人数	スタッフ数	一般利用者	スタッフ数	合計
4	10	306	56							306	56	362
5	11	433	38							433	38	471
6	8	507	22				2	64	10	571	32	603
7	11	979	40	1	16	1				995	41	1036
8	12	1336	41	1	37	1				1373	42	1415
9	9	419	33							419	33	452
10	9	199	54	1	18	1				217	55	272
11							2	134	12	134	12	146
計	70	4179	284	3	71	3	4	198	22	4448	309	4757

■昆虫館の樹木の伐採

20mを越す大木に成長した樹木が建物を脅かす存在となっていたため、町役場に要望し、2018年2月、当初予定の16本と、つり上げに邪魔となる樹木の伐採剪定が行われた。（近藤）



D 管理運営

- ・正会員41名、家族会員2名（420,000円）
- ・寄付金 148,000円（日当寄付、過年度会費等）
- ・理事会、総会、役員会を開催した。

総会は、2017年6月10日（土）、会員研修会を兼ねて、大阪府宮箕面公園昆虫館で開催した。



総会兼会員研修会のようす